# R 5 学習指導案形式(教科)

第○学年○組 ○○科学習指導案

令和○年○月○日 指導者 ○○○○

1 単 元 (題材名) 〇〇〇〇〇

## 2 目 標

### ※ 学習指導要領解説の該当する指導事項を基に書きます。

- ~することができる。~理解する。(知識及び技能)
- ~することができる。~を考察し、表現する。(思考力、判断力、表現力等)
- ~伝え合おうとする。~しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

本単元の目標と単元の評価規準は、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 (以下、「一体化資料」とする)」(国立教育政策研究所)を参考にして作成してください。

3 単元の評価規準

知識・技能			思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
1	【例】2/5	1	【例】1/5	① 【例】4/5		
2	【例】4/5	(2)	【例】5/5			

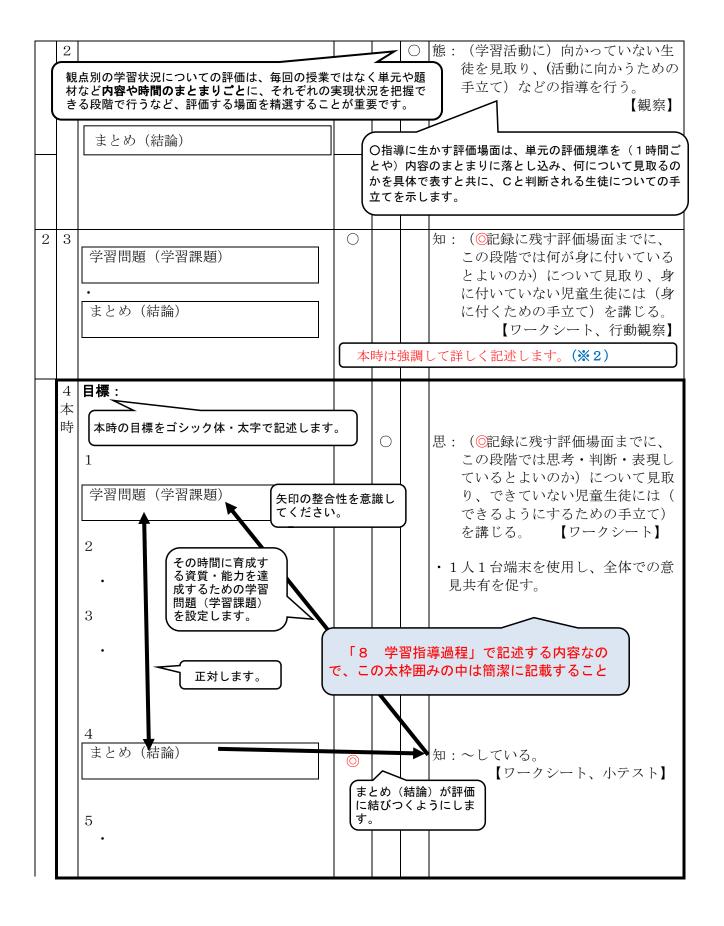
本単元(題材)の目標を基に、「一体化資料』を参考に作成してください。

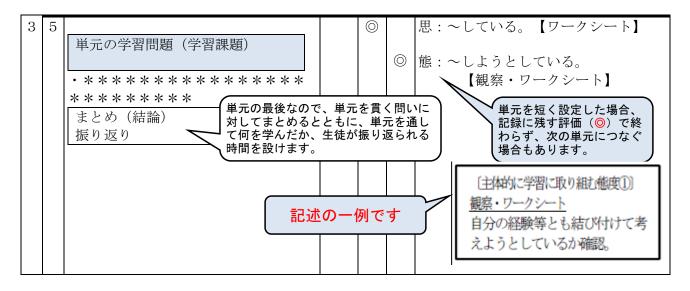


#### 4 指導観

- [教材(題材)観]
  - ※ 学習指導要領との関連、教材(題材)の教育的意義や主なねらい、本質的なとらえ方、 系統の位置付け等を明確に記述する。
- [生徒観]
  - ※ 単元に関する知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度について、 生徒の特性や傾向等を記述する。本単元につながるこれまでの学び、県学力診断のための テストの結果やレディネステストなどの実態調査(できるだけ数値化したもの)から、本 単元における生徒の身に付けたい資質・能力などを記述します。
  - ※ 「本学級は男子O名、女子〇名、明るく元気な生徒が多い。」などは記述しない。
- [指導観]
  - ※ 生徒観に書かれた課題を受け、単元のねらいに迫るための指導上の手立てを記述します (カリキュラム・マネジメントを意識した手立てなども入れるとよい)。
  - ※ 教材(題材)観、生徒観をもとに、「○○の手立て(○○の活動)を通して目標に迫る」という授業者のねらいや意図を明確に記述する。
  - ※ 学校の教育目標、研究テーマ(すべての生徒たちが「分かる・できる」と実感できる授業の構築)等と関連付けて記述する。また、教材(題材)観、生徒観との整合を図るようにする。
- 5 単元の指導計画(全 時間 本時 △/○)
  - ○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面

次	時	学習活動及び内容	知技	思	態	評価及び評価方法等
1	1	学習問題(学習課題) 育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い 学びに関わる主な活動を入れます。(※1) 単元の学習問題(学習課題)				知: (②記録に残す評価場面までにこの段階では何を理解しているとよいのか) について見取り、理解していない生徒には(理解できる様にするための手立て)を講じる。 【ワークシート、観察】





- ※1 指導計画は、単元のまとまりを見通し作成します。したがって、学習内容・活動の欄には、その時間に育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い学びに関わる主な活動を入れます。
- ※2 授業公開や学校訪問等を行う場合は、内容や活動を詳しく示すとともに、評価及び評価 方法等の欄に、配慮事項などを加えるなど、参観者に本時の学習の流れが分かるように工夫 するとよい。

#### 6 本時の目標

- ~することができる。~理解する。(知識及び技能)
- ~することができる。~を考察し、表現する。(思考力、判断力、表現力等)
- ~伝え合おうとする。~しようとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)
  - ※ 単元の指導計画を元に必要な項目だけを記述します。 (多くても2つまでが妥当です。)

## 7 本時の評価規準

- ※ 本時の目標と対応させる。
- ※ 単元の評価規準をもとに、本時で「おおむね満足できる状況(B)」とする生徒の状況(姿)を想定して設定する。

# 8 学習指導過程 ※指導上の留意点と評価を同じ枠内に記述

学習 段階	学習活動及び内容	指導上の留意点	評価
導入 (○分)	1・・・・する。 学習活動と学習内容を区別して記述する。	<b>教師の立場で記述</b> (学習活動は書かない。) ○ …できるようにする。 ○ …配慮する。 ○ …気付かせる。 ○ …させる。 等	
め	2 学習課題をつか む 学習課題を書く 示のタイミングは、授業の始 である必要はない。適切なタ ミングで提示できればよい。	るようにさせる。	
展開(〇分)	<ul> <li>※ 展開の順に生徒の立場で記述する。</li> <li>【生徒の立場の文体】</li> <li>(○○考える)</li> <li>(○○取り組む)</li> <li>(○○ご調べる)</li> <li>(○○発表する)</li> <li>*3. タブレットに表示された図に、見</li> </ul>	で、どの生徒も考えやすくさせる。また、 穴埋め式のヒントカードを用意すること で、文章記述が特に苦手な生徒でも書きや すいように配慮する。 【指導上の留意点の書き方】 生徒のつまずきを想定しながら、そのための 記述する。 Aする(させる)ことで、Bする(させる)	
	つけた体の特徴を 書き込む  4. 各班の発表をもとに 結論を出す。  生徒に「分かった た」と最も感じさ 考えている『授業 となる学習活動を	せたいと する具体的な手立 てを記述する必要	「思考・判断・表現①」 ワークシート 叙述をもとに太一がも りを打たなかった理由 を想像し、自分の考えを まとめているか確認。
終末(○分)	<b>ク体で記述</b> する。 5. 本時の振り返り をする	※ 何が分かって、何が分からなかったのか を、生徒が自覚できるような方法を考える とよい。	

# 9 板書計画(細かく記述する必要はありません。)

- ※ その時間の学習課題(目標)を明示する。
- ※ 構造的・計画的な板書になるように心がける。
- ※ 色チョークの使い方を工夫する。(色覚の特性に配慮する)
- ※ 授業の流れがわかるようにする。
- ※ 図式的板書の場合、生徒が理解しやすいように工夫する。
- ☆ 1時間終了後、授業の振り返りや家庭学習に活用できるような板書を意識する。